

# すべての人にやさしさや思いやりを こころのユニバーサルデザイン

ID 1009407

誰もが安心して暮らせるまちをつくるためには、建物や道路の整備だけではなく、生活する一人ひとりがやさしさや思いやりを持つことが大切です。

日常生活の中で相手を理解し、やさしさや思いやりを持った心掛けや行動をすることで、誰もが安心して暮らせるまちにしていきたいと思います。

☎保健福祉総務課 ☎(632)2919

私たちにもできる

## やさしさや思いやりのある行動

困っている人がいた時は  
声を掛け、手助けをしましょう

自分ひとりでの手助けが  
難しいときには近くの人と  
協力して手助けをしましょう



妊産婦や高齢者に  
席を譲りましょう

エレベーターで  
ドアの開閉を  
手伝うなどの  
配慮をしましょう



点字ブロックの上に  
自転車などを置かない  
ようにしましょう



## 身近な所にも やさしさ育むマーク

このマークを提示されたり見掛けたりしたら やさしい行動を

身体障がい者標識  
(障がい者マーク)



聴覚障がい者標識  
(聴覚障がい者マーク)



介護マーク



ハートプラスマーク



耳マーク



マタニティマーク



## やさしい施設や場所など

障がい者のための  
国際シンボルマーク



聴覚障がい者  
シンボルマーク



バリアフリー施設  
整備基準「適合証」



視覚障がい者のための  
国際シンボルマーク



オストメイトマーク



ほじょ犬マーク



ベビーカーマーク



※これらのマークについて  
詳しくは、市☎をご覧ください。

障がいのある人や体の不自由な人が外出する場合、多くの不便があります。その不便や誤解を取り除くためには、皆さんの配慮やサポートが必要です（上のイラスト参照）。

小さなことでも、皆さんがやさしさや思いやりを持って行動することが必要です。

「誰もが安心して暮らしやすいまち」となるよう、できることから始めてみましょう。

誰もが安心して暮らせるように  
できることから始めよう

思いやりで笑顔あふれる  
やさしさを育むマーク

日常の中には、「すべての人にやさしく」というユニバーサルデザインの考え方のもと、周囲の人へのサポートや施設利用などがしやすくなるよう考えられた、さまざまなマークがあります（上のマーク参照）。

皆さんがマークの意味を正しく理解し、やさしさや思いやりのある行動を心掛けることで、妊娠している人や障がいがある人など、見た目では分かりにくい人でも、安心して生活することができます。